

医療と介護の連携指針添付資料「医療と介護の連携に係る主な取組み」(平成 25 年度調査)

区分	県・市町村	団体等
相互理解	<p>(多職種の役割や機能に係る研修・多職種の関係者による研修会) 地域包括支援センター職員のための初任者・現任者研修 多職種の役割や機能、連携の必要性についての研修 (長寿社会課)</p> <p>介護支援専門員のための研修 最適なケアプランの作成のため、様々な職種やサービスの役割、機能についての研修等 (長寿社会課、富士・東部保健所管内市町村で合同開催、富士吉田市、韮崎市、北杜市、道志村、忍野村、富士河口湖町)</p> <p>山梨県リハビリテーション支援センター・地域リハビリテーション広域支援センター(再掲) 地域リハビリテーション推進の一環として、関係多職種の役割や機能を理解するための研修会や公開講座 (長寿社会課)</p> <p>認知症地域医療支援事業(再掲) 認知症に関する相談から、早期診断、早期治療への仕組みづくりを行うため、これに関わる、地域包括支援センター、介護支援専門員、かかりつけ医、認知症サポート医の役割や機能についての研修会 (長寿社会課)</p> <p>山梨県認知症疾患医療センター(再掲) 認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施するとともに、地域保健医療・介護関係者への研修会 (2箇所・障害福祉課)</p> <p>山梨県高次脳機能障害者支援センター(再掲) 高次脳機能障害のある方やご家族の相談に応じる他、課題解決のため、地域包括支援センターをはじめ関係者に対し研修会 (1箇所・障害福祉課)</p> <p>各職能別団体等における研修会等の開催 他職種の役割や特性についての研修会</p> <p>介護サービス事業者連絡協議会(名称は市町村により異なる)(再掲) 介護サービス事業者と介護保険担当課、地域包括支援センターとの研修会、連絡会議(実施主体は協議会、市町村等様々である)(27市町村内)</p> <p>ケアマネ連絡会(名称は市町村により異なる)(再掲) 市町村内の介護支援専門員と地域包括支援センターが定期的な連絡会を開催(実施主体は協議会、市町村等様々である) (27市町村内)</p>	<p>継続看護研修会 継続看護に係わる多職種への理解を深める研修会 (山梨県看護協会各地区支部)</p> <p>在宅医療・介護支援部会(再掲) 平成 25 年度日本医師会が実施した在宅医リーダー研修会の受講者による在宅医療に関する研修会を実施し、在宅医療の取り組みの強化を図る。(山梨県医師会)</p> <p>在宅歯科診療にかかる知識や技能の研修会 例 口腔ケア等普及研修会 要介護者・障がい者(児)を処遇・看護する多職種を対象に、知識・技術研修会 (山梨県歯科医師会)</p> <p>生涯学習研修会 年間 16 講座開催する中で、医師、歯科医師、歯科衛生士、理学療法士など多職種を交えた講演やシンポジウム (山梨県栄養士会)</p> <p>介護と医療の相互理解の研修会 「医療ニーズと支援のポイント」のテキストを活用した研修会 (山梨県介護支援専門員協会)</p> <p>相互参加の研修会 協議会に所属する各部会(看護部会、理学療法士部会、作業療法士部会、言語聴覚士部会、薬剤師会、放射線部会、栄養士歩合、ワカ部会)が参加できる相互参加の研修会(山梨県リハビリテーション病院・施設協議会)</p> <p>訪問リハビリテーション研修会 3 職種(理学療法士会、作業療法士会、言語聴覚士会)で協議会を設置し、合同研修会 (山梨県訪問リハビリテーション協議会)</p> <p>地域単位での交流会・学習会 地域単位で社会資源のネットワークを推進 (山梨県社会福祉士会)</p>

<p>相互理解</p>	<p>[医療側からの取り組み] 在宅チーム医療のための地域リーダー研修会(再掲) 多職種協働による在宅チーム医療の推進を担う医師、歯科医師、薬剤師、看護師、介護支援専門員、介護士等の医療福祉従事者に対する研修会 (医務課、各保健所)</p>	
<p>ツールや仕組み</p>	<p>地域ケア会議 市町村、地域包括支援センター、医療関係者、介護サービス事業者などが、一堂に会し個別ケースの支援内容の検討や地域課題の解決を図る。</p> <p>サービス担当者会議(介護保険) ケアプラン作成のため介護支援専門員が主催し、利用者や家族を中心に関係の多職種が協働で情報共有型の会議を行う。</p> <p>山梨県リハビリテーション支援センター・地域リハビリテーション広域支援センター 地域リハビリテーション推進のため、県センターと各圏域に広域支援センターを設置。リハ医師、OT・PT等の専門職、地域包括支援センター、介護職、介護支援専門員等が参画して情報交換、問題解決を図る。(長寿社会課)</p> <p>認知症地域医療支援事業 認知症に関する相談から、早期診断、早期治療に至るまで、地域包括支援センター、介護支援専門員、かかりつけ医、認知症サポート医等、関係者の役割や機能を活かした仕組みづくり。(長寿社会課)</p> <p>山梨県認知症疾患医療センター かかりつけ医、専門医療機関、地域包括支援センターや介護支援専門員等と連携を図りながら、認知症疾患に関する鑑別診断、周辺症状と身体合併症に対する急性期治療、専門医療相談等を実施する。(2箇所・障害福祉課)</p> <p>山梨県高次脳機能障害者支援センター かかりつけ医、地域包括支援センターやケアマネジャー等と連携を図りながら、高次脳機能障害のある方や家族の相談に応じる他、市町村、地域包括支援センターなど関係者に対する研修会やネットワークづくりなどを行う。(1箇所・障害福祉課)</p> <p>市町村介護担当部局と病院との情報交換会 各市町村内の病院相談窓口担当者や市立病院と情報交換会を開催する。(甲府市・大月市・都留市・山梨市・韮崎市・上野原市・甲州市)</p>	<p>サービス担当者会議(介護保険) ケアプラン作成のため介護支援専門員が主催し、利用者や家族を中心に関係の多職種が協働で情報共有型の会議を行う。</p> <p>[医療側からの取り組み] 医療機関における退院時等カンファレンス 病院での入院加療を終え、在宅で医療やケアが必要な患者に対し、自分らしく快適な療養生活を送るため、安心安全な医療・看護・介護が続けられるためのプランを検証・確認する。</p> <p>在宅療養支援診療所 H18年に新設され、24時間体制で往診や訪問看護を実施する診療所。自宅での療養やターミナルケアへの対応が期待され、他の医療機関、訪問看護ステーション等の看護職員のほか、介護サービスとの連携を図る。(45箇所)</p> <p>在宅療養支援病院 H20年に新設され、24時間365日体制で往診や訪問看護を行う病院。在宅療養の患者が緊急入院できる病床を確保するとともに、他の保健医療サービスや介護サービスとの連携を行う。(3箇所)</p> <p>在宅療養支援歯科診療所 在宅や社会福祉施設等における療養に必要な口腔ケアを支援する歯科診療所。患者や家族、在宅医療を担う医師、介護・福祉関係者等に情報提供できる体制を整えるとともに、別の医療機関との連携を確保。(33件)</p> <p>在宅患者訪問薬剤管理指導 通院が困難な者に対し、薬剤師が医師の指示に基づき、他の歯科医師や訪問看護ステーションと連携のもと、訪問して服薬等の指導・確認を行う。(223薬局)</p>

<p>ツールや 仕組み</p>	<p>介護・医療連携のためのシート等の活用 ・かかりつけ医と介護支援専門員との情報交換のきっかけとする事案や連絡先等を記載したシートの活用。(笛吹市) ・認知症疾患医療センター、地域包括支援センター、かかりつけ医の間での「認知症の確定診断を受けた者の生活や介護に関する情報」の共有と活用(山梨市・韮崎市) ・家族支援と事業所の連携を図る手段として「連携ノート」を作成。訪問看護師、介護職員、本人、家族等関係者それぞれの情報や意志の疎通を図る。(中央市、甲州市、市川三郷町、北杜市)</p> <p>利用者連絡票の活用 主治医と介護支援専門員が連携を図るため、利用者連絡票の作成(甲府市)</p> <p>連絡ノート、連絡シートの活用 連絡ノート等を作成し、家族と介護と医療が情報を共有し継続した支援を行う(甲州市・鳴沢村)</p> <p>介護サービス事業者連絡協議会(名称は市町村により異なる) 介護サービス事業者と介護保険担当課、地域包括支援センターとの研修会、連絡会議を開催する。(実施主体は協議会、市町村等様々である)(27市町村内)</p> <p>ケアマネ連絡会(名称は市町村により異なる) 市町村内の介護支援専門員と地域包括支援センターが定期的な連絡会を開催する。(実施主体は協議会、市町村等様々である)(27市町村内)</p> <p>医療・介護資源マップ 医療機関と協働でマップを作成(中央市)</p> <p>峡南地区地域包括主任ケアマネ部会 介護サービスの適正利用について医療機関にパンフレットの配布(峡南圏域町村)</p> <p>在宅療養のしおり等在宅療養に関する情報、資源マップ (各保健福祉事務所)</p> <p>保健・医療・福祉等多職種協働による想いのマップの作成及び地域住民、多分野の関係職種への普及啓発(研修等) 療養者の思いを中心に寄り添う支援に向けた共通媒体の活用。関係機関の機能と担当者(職種)の役割理解を図り(広め)療養者中心の継続的支援、多職種連携・協働、地域包括ケアシステムの構築・推進を目指す。(中北保健所)</p>	<p>医療間連携 特定の疾患に係る連携パス ・地域連携クリティカルパス(がん患者等) 県内4箇所の拠点病院を中心に、がん医療の均てん化を推進 ・脳卒中地域連携パス 全県を対象に、急性期から回復期、維持期までを対象として、地域の脳卒中治療の標準化、効果的な医療連携を推進 ・大腿骨頸部骨折地域連携パス 県立中央病院を中核に、手術を行う急性期及びリハビリテーションを行う回復期の診療を担う16医療機関と連携</p> <p>連携シート ・継続看護連絡票 県内の各支部で看護師間の情報連携を図るため、継続看護連絡票を作成し運用(山梨県看護協会・各地区支部)</p> <p>在宅医療・介護支援部会 平成25年度日本医師会が実施した在宅医リーダー研修会の受講者による在宅医療に関する研修会を実施し、在宅医療の取り組みの強化を図る。(山梨県医師会)</p> <p>お薬手帳 お薬手帳の活用の推進(山梨県薬剤師会)</p> <p>診療情報提供書 診療情報を提供するため提供書の活用を図る(山梨県リハビリテーション病院・施設協議会)</p> <p>生活行為向上マネジメント 生活行為の向上を支援するため、介護現場や高齢者の生活支援を図る生活行為向上マネジメントを普及(山梨県作業療法士会)</p> <p>栄養サマリー 利用者の食生活を在宅、医療、介護施設間で情報共有するため活用の検討(山梨県栄養士会)</p>
---------------------	--	--

	<p>[医療側からの取り組み] 在宅歯科医療連携室運営事業 山梨口腔保健センターに在宅歯科医療における医療や介護等との連携を図る窓口を設置。介護支援専門員等との連携により、在宅歯科医療と介護の連携を図る。 (実施 139 医療機関) (医務課)</p> <p>在宅医療関係連携会議 在宅高齢者が安全に安心して生活できることを目指し、市内の関係機関等の代表者が在宅療養の現状と課題を共有し、医療・介護関係のサービスを総合的に提供出来る体制の構築を図る。 (南アルプス市)</p> <p>在宅医療連携協議会 町内の関係医療機関・関係事業所がそれぞれの情報を共有し、患者とその家族が安心して継続した在宅医療を続けられるよう連携を図る。 (南部町)</p>	
<p>ネットワーク</p>	<p>地域ケア会議(再掲) 市町村、地域包括支援センター、医療関係者、介護サービス事業者などが一堂に会し個別ケースの支援や地域課題解決のためのネットワーク会議。また、課題に対応した関係者のネットワーク化を支援。</p> <p>山梨県リハビリテーション支援センター・地域リハビリテーション広域支援センター(再掲) リハ医師、OT・PT等の専門職、地域包括支援センター、介護職、介護支援専門員等が参画して情報交換、問題解決を図るためのネットワーク(長寿社会課)</p> <p>認知症地域医療支援事業(再掲) 認知症に関する相談から、早期診断、早期治療に向けて、地域包括支援センター、介護支援専門員、かかりつけ医、認知症サポート医等、関係者の役割や機能を活かした仕組みづくりを行うためのネットワーク会議の設置 (長寿社会課)</p> <p>山梨県認知症疾患医療センター(再掲) かかりつけ医、専門医療機関、地域包括支援センターや介護支援専門員等と連携を図るための連絡会議の設置 (2 箇所・障害福祉課)</p> <p>山梨県高次脳機能障害者支援センター(再掲) かかりつけ医、地域包括支援センターや介護支援専門員等と連携を図るための高次脳機能障害者支援ネットワーク連絡協議会の設置(1 箇所・障害福祉課)</p> <p>地域コーディネーターの配置(地域包括支援センター) 市医師会との連携や在宅医療体制の検討を行う他、医療、介護、福祉を担う広範な関係者の連携を進めるための体制づくりを行う。 (笛吹市)</p>	<p>【医師・歯科医師等を中心とした在宅医療や認知症支援の研究会等(例)】 山梨在宅医療研究会(代表:古屋聡医師) 在宅緩和ケアを行っている医師等を中心に介護支援専門員等多職種の関係者が集まり連携を図る。</p> <p>甲府在宅ネットワーク(代表:樋口幸司医師) 在宅医療を行う医師を中心に、各分野からの情報提供や多職種によるグループワークなどを通し、関係者のネットワーク化を進める。</p> <p>地域で暮らす会(韮崎・北杜在宅ネットワーク)(代表:中嶋克仁医師) 地域の医療や介護関係者、家族会など地域住民が終末期患者や高齢者の症例、支援方法について情報交換を行う。</p> <p>甲斐在宅ネットワーク(代表:曾根順子医師) 在宅療養を希望する患者や高齢者を地域でサポートするため、医療と介護、行政関係者等の顔の見える関係づくりを進める。</p> <p>摂食・嚥下サポートやまなし(代表:菊地原英世歯科医師) 摂食・嚥下障害を持つ方を支援するため、歯科医師、薬剤師、管理栄養士、学校関係者など多職種で連携を図り、ネットワークづくりを進める。</p> <p>やまなし認知症を考える会(代表:山梨大学 瀧山嘉久教授) 認知症サポート医の活動を支援するため、医師、家族の会、地域包括支援センターなどが参加し、先進事例の紹介や県内の取り組みを共有する研修会を行う。(甲府、中巨摩、富士北麓など地区単位でも推進)</p> <p>富士北麓在宅医療連携の会(代表:穂坂路男医師) 富士北麓地域の在宅医療の連携を推進するため、医師、歯科医師、介護支援専門員、訪問看護師、学生等幅広く集い研修会などを行う。</p>

<p>ネットワーク</p>	<p>市町村介護担当部局と病院との情報交換会(再掲) 各市町村内の病院相談窓口担当者や市立病院と情報交換会を開催する。 (甲府市・大月市・都留市・山梨市・韮崎市・上野原市・甲州市)</p> <p>[医療側からの取り組み]</p> <p>地域保健医療推進委員会 市町村、医療機関、看護、栄養士、ケアマネジャー、教員など幅広い職種で構成し、地域住民の健康や適切な医療供給体制の確保を総合的、計画的に推進する。 (各保健福祉事務所)</p> <p>峡南医療連携協議会(地域医療再生計画) 介護、福祉と連携した在宅医療を推進するため、医師や歯科医師、薬剤師など医療関係者をはじめ、地域包括支援センター、居宅支援事業、訪問看護ステーションなど介護等関係者で構成する峡南医療連携協議会を設置、開催し、在宅医療ネットワークの構築等検討する。 (医務課)</p> <p>継続看護窓口担当者会議 管内の医療機関、訪問看護、地域包括支援センターなどの看護職が連携をとり、継続看護の推進が図られるよう担当者会議を開催する。 (各保健福祉事務所)</p> <p>在宅ターミナルケア地域連絡会議(名称は実施事務所により若干異なる) 医師、看護師、ケアマネジャー、薬剤師、市町村など在宅ターミナルの関係者により地域連携を進めるための会議を開催する。 (各保健福祉事務所)</p> <p>在宅緩和ケア地域連絡会議(名称は実施事務所により若干異なる) がん末期患者等在宅療養者が希望する終末期ケアを受けられるよう、在宅緩和ケア等に関する保健・医療・福祉の総合的なサービスを提供する協力体制の構築を図る。 (各保健福祉事務所)</p> <p>病院・地域看護関係者連絡会議 病院・地域・施設等の看護関係者が連携のもと、必要なケアが必要な時に受けられるよう地域の支援ネットワークの構築を図る。 (各保健福祉事務所)</p> <p>地域・職域保健連携推進事業 地域住民の生涯を通じた健康管理を行うため、地域保健と職域保健が広域的に連携し、地域の実情に応じた協力体制・健康づくり体制の構築に必要な事項を協議する。 (各保健福祉事務所)</p>	<p>訪問看護等在宅ケア推進委員会 安心して在宅療養を可能にするための対応策の検討と退院支援マネジメントのための標準ツールの作成及び活用研修会の開催 (山梨県看護協会)</p> <p>在宅連携 ICT (Information Communication Technology) の活用 各地域歯科医師会を通して、地域の医療・介護の情報のネットワークを構築。このため、通信技術を活用した在宅連携 ICT の活用ネットを促進する。 (山梨県歯科医師会)</p> <p>ホームページの活用 「在宅訪問可能薬局一覧」「在宅訪問指導が可能な薬局名」をホームページに掲載する。 (山梨県薬剤師会)</p>
---------------	---	--

<p>ネットワーク</p>	<p>在宅医療関係連携会議(再掲) 在宅高齢者が安全に安心して生活できることを目指し、市内の関係機関等の代表者が在宅療養の現状と課題を共有し、医療・介護関係のサービスを総合的に提供出来る体制の構築を図る。(南アルプス市)</p> <p>在宅医療連携協議会(再掲) 町内の関係医療機関・関係事業所がそれぞれの情報を共有し、患者とその家族が安心して継続した在宅医療を続けられるよう連携を図る。(南部町)</p> <p>介護サービス事業者連絡協議会(名称は市町村により異なる)(再掲) 介護サービス事業者と介護保険担当課、地域包括支援センターとの研修会、連絡会議等を開催する。(実施主体は市町村によって異なる) (27市町村内)</p> <p>ケアマネ連絡会(名称は市町村により異なる)(再掲) 市町村内の介護支援専門員と地域包括支援センターが定期的な連絡会等を開催する。(実施主体は市町村によって異なる) (27市町村内)</p>	
---------------	---	--